

2026 年 8 月 18 日作成 Ver.3

## 《情報公開文書》

外傷患者における GLIM 基準を用いた低栄養の評価と  
入院 7 日目以降の栄養摂取量との関連性に関する検討

## 研究の概要

## 【背景】

外傷の患者さんでは、集中治療後も身体機能の障害が長期間持続することがあり、その予防・改善のためには、十分なエネルギー・タンパク質の摂取量を確保し、身体活動量に応じて適切に栄養摂取量を増量することが推奨されています。また、適切な栄養療法を実施する前に栄養評価が重要です。近年では国際的な低栄養診断基準である GLIM（Global Leadership Initiative on Malnutrition）基準の有用性が報告されています。これまでに、外傷患者さんにおいて低栄養状態では栄養摂取量が低いことは報告されていますが、関連する報告数は限られており、その多くは欧米からの報告です。しかし、本邦の外傷患者さんにおける GLIM 基準による低栄養と栄養摂取量との関連については十分に検討されていません。

## 【目的】

当院に入院した外傷の患者さんを対象として、入院時の GLIM 基準による低栄養の有無と、入院 7 日目以降のエネルギー・タンパク質摂取量との関連について調査します。

## 【意義】

外傷の患者さんにおいて入院時に GLIM 基準を用いた低栄養の有無と 7 日目以降のエネルギー・タンパク質摂取量の関連が明らかになることで、入院時の低栄養状態の患者さんへの入院早期からの積極的な栄養介入の必要性を示す根拠となることが期待できます。

## 【方法】

外傷で入院された患者さんを対象に GLIM 基準で評価された低栄養の有無と 7,14,21,28 日目のエネルギー・タンパク質摂取量を調査します。また、入院中の感染症合併症、血液データ、在院日数、退院時の日常生活自立度、退院後の転帰も調査します。

## 対象となる患者さん

2020 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日の間に外傷によって長崎大学病院に入院した患者さん

## 研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

- ・入院時の情報：入院時の年齢、性別、受傷機転、身長、体重、体格指数、血液検査結果（ヘモグロビン、末梢血リンパ球数、C 反応性タンパク(CRP)、プレアルブミン、総タンパク、アルブミン、血中脂質、総コレステロール）、過去6か月以内の意図しない体重減少の有無、腹部 CT 画像から測定した第 3 腰椎中間点レベルの骨格筋横断面積

- ・入院中の情報：入院から 7,14,21,28 日目のエネルギー・タンパク質摂取量。感染症発症の有無、血液検査結果（プレアルブミン、トランスフェリン、レチノール結合蛋白）、CONUT スコア

- ・在院日数、退院時の日常生活自立度、退院後の転帰（自宅退院、転院、施設退院、死亡）。

本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

### 情報の利用開始予定日／提供開始予定日

本研究は 2026 年 8 月 24 日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。

あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。

ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。  
あらかじめご了承ください。

### 研究実施期間

研究機関長の許可日～2028 年 3 月 31 日

### 研究実施体制

研究責任者 所属：長崎大学病院

栄養管理センター

氏名：北 和貴

住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1

電話：095(819)7240

情報の管理責任者 長崎大学病院 病院長

### 問い合わせ先

機関名：長崎大学病院

栄養管理センター

氏名：北 和貴

住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1

電話：095(819)7240

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095(819)7200

受付時間 : 月～金 8:30～17:00（祝・祭日を除く）